

松田町第6次総合計画 令和2年度評価に係る推進方法確認シート

令和2年度評価において、評価が『C』以下（令和2年度取組予定に対し、実際の進捗状況が70%未満）の取組について、その課題・要因、それらに対する対応方法を含めた今後の推進方法について、整理しています。

項目	取組名称	評価	課題・原因	対応方法・ 今後の推進方法
第1章	1-3-2-1 事業者指導	D	新型コロナウイルス感染拡大による。	緊急性がある場合には対応できるよう県と調整する。
	1-3-2-3 介護相談員事業	D	新型コロナウイルス感染拡大により、利用者の安全を優先し外部からの訪問を断っているため。	相談員のモチベーションは保ちつつ、訪問以外の方法がないか検討を行う。
	1-6-1-2 地域包括ケアシステム構築	C	自立支援協議会内での調整が ついていないため。	保健所が築いてきた地域ネットワークにより医療機関等専門機関をメンバーに「協議の場」設置に向け取り組む検討を行っていきます。
第2章 該当なし				
第3章	3-1-5-4 体験学習等の実施	C	森林関連の体験学習として実施している「やどりき水源林のつどい」がコロナの影響で中止となり、事業実施ができませんでした。	令和3年度もコロナの影響で中止が決定していますが、令和4年度から、再度、寄を会場に実施する予定としています。
	3-2-2-1 桜まつり等の各種イベントの実施連携・協力	C	コロナにより、イベント自体が全て中止となりました。	コロナ禍でも実施可能な商工振興策を、関係団体と調整していきます。
	3-2-2-2 イベント開催時における地場産品の販売促進	C	コロナによるイベントの中止により、場の確保ができませんでした。	コロナ禍でも実施可能な商工振興策を、関係団体と調整していきます。
	3-2-2-4 まつだ乾杯条例の推進	C	新型コロナウイルス感染症の影響により、飲食店を会場としたイベントは行えない状況でした。	これまでの推進方法（イベントの活用など）とは違った新たな手法を、協議会等で模索していきます。

項目	取組名称	評価	課題・原因	対応方法・今後の推進方法	
第3章	3-2-7-4	勤労者生活資金融資預託金制度の活用促進	C	融資制度の利用が無いことを踏まえ、その時々为社会情勢やニーズの把握を、細かく確認・分析していく必要があります。	令和3年度に制度を見直し、貸出上限額の引き上げや返済利率の引き下げを予定しています。
	3-4-1-1	県・足柄上地区1市5町と連携した講習会の開催	C	メインターゲットが高齢者だけでなく、新型コロナウイルス感染症が終息を見せない限りは、実施が困難です。	人を集めることが難しい間の、講習会に代わる消費者啓発事業を推進します。
第4章	4-7-2-1	水道使用料適正化の検討	D	検討を行う予定であった水道事業運営審議会が、委員の選定に難航し未開催だったため。	改めて、委員の公募を行う。
第5章	5-4-5-1	松田山ハープガーデン活用促進	C	指定管理に向けた準備が整わず、募集に至りませんでした。	条例改正等の制度の整備が整い次第、指定管理者を募集します。
	5-5-1-1	消防の連携強化	D	足柄上郡内の各町消防団との連携が不十分です。	各町本団との意見交換を進め、連携の具体化を検討します。
	5-5-1-2	消防団詰所の建替え	E	町有地若しくは無償で借用できる土地が必要であり、現在、6分団に検討していただくよう依頼している。	6分団及び5分団と管轄自治会に依頼し建設場所の検討していただくよう、進めていきます。
	5-6-1-2	関係機関との連携強化と新たな防災協定の締結	C	喫緊の課題となっている広域避難に係る協定については、多くの協定の見直しが必要となります。	関係機関との協定締結に向けた調整及び締結協定の内容見直し、実効性ある協定の締結を実施します。
	5-6-2-3	地域での高齢者や障がい児者の災害時避難等の支援	C	対象となる高齢者・障がい者の方々への具体的な支援に係る計画内容が不足しています。	福祉課や民生委員、自治会と調整して、要介護者の具体的な支援を検討する。
	5-6-3-3	生活用水用井戸の確保	D	災害用井戸としての指定に係る保有者との各種調整が課題となっています。	災害時の使用方法等に係る統一的基準等を示した上で井戸保有者と協定締結等について調整を図ります。
第6章	6-3-3-1	審議会における女性の登用促進	C	女性登用率30%の実現が課題。	数値目標である、女性登用率30%の実現するため、登用が進まない理由等の課題抽出を行い、登用を進めるための働きかけを行います。

松田町第 6 次総合計画 令和 2 年度評価に係る推進方法確認シート

令和 2 年度評価において、評価が『A』（令和 2 年度取組予定に対し、進捗状況が「事業完了」「目標以上成果があった」）の取組について、その評価とした理由を整理しています。

項目	取組名称	理由
第 1 章 該当なし		
第 2 章	2-1-5-2 I C T 機器を活用した学校交流事業	寄小学校児童と松田中学校生徒との間で、I C T 機器（ウェブカメラ）を用いて遠隔授業を実施した。校種の異なる学校で、児童と生徒が同じ授業を実施できたことは、教育にとって多大なる効果である。
	2-1-9-1 英語検定合格者数の増加（目標人数）	2020年度合格者数の目標値（10%）を上回り、11.8%であったため。
第 3 章	3-1-3-1 有害鳥獣駆除活動の実施、支援	コロナ禍で町外（都市部）の実施隊員が例年のようには活動できない状況でしたが、わなの器材も充実させ、捕獲頭数は例年と変わらない実績をあげることができました。また、イベントの実施が困難な中、感染防止対策のうえで「ハンター塾」を開催し、隊員の確保と人材育成も推進できました。
	3-4-2-1 足柄上地区 1 市 5 町と連携した広域的な相談体制の充実	構成市町で共同負担し、専門的知識を蓄積した相談員を配置することで、費用対効果の高い相談体制を確立しています。
第 4 章	4-7-1-1 給水管の布設替えと施設の更新・整備	神山配水池緊急遮断弁更新工事・宮下水源水害対策工事設計委託が完了したため。
	4-7-2-2 経営の健全化	上水道事業会計・寄簡易水道事業会計の経営戦略の策定をしたため。
第 5 章	5-4-7-2 18ホール化に向けての調査・研究	18ホール化整備に係る県との河川占用手続き及び整備工事が完了しました。
	5-5-1-5 町防災行政無線のデジタル化	令和元年 6 月 1 2 日に契約を締結し、機器の納品は完了しました。さらに、拡声子局を 2 5 箇所を設置し、改修工事は完了しました。
第 6 章 該当なし		

事業総合評価に係る推進方法確認シート

事業総合評価において、評価が『D』以下（アクションプログラム期間において目指しているもの・予定している取組内容に対し、今回評価時までの進捗状況が50%未満）の取組について、その課題・要因、それらに対する対応方法を含めた今後の推進方法について、整理しています。

項目	取組名称	評価	課題・原因	対応方法・今後の推進方法	
第1章～第4章 該当なし					
第5章	5-5-1-1	消防の連携強化	D	足柄上郡内の各町消防団との連携が不十分です。	近年全国各地で発生している自然災害など、今後の大規模な災害に備え、相互の応援体制の充実を進めます。
	5-5-1-2	消防団詰所の建替え	D	当初予定していた建設候補地が使用できず、再度土地の検討から事業展開を行っています。	詰所の建設場所の特定を早期に行い、予算を確保する必要があります。
	5-6-1-2	関係機関との連携強化と新たな防災協定の締結	D	現在締結している協定が10年以上経過しており内容見直しが必要です。	有事の際の避難先、食料や消耗品等の確保、また、実態の乏しい協定については見直しを推進します。
	5-6-2-3	地域での高齢者や障がい児者の災害時避難等の支援	E	対象となる高齢者・障がい者の方々への具体的な支援に係る計画がありません。	福祉課や民生委員、自治会と調整して、要介護者の具体的支援を検討します。また、必要と思われる福祉施設や団体と災害協定を締結します。
	5-6-3-3	生活用水用井戸の確保	D	災害時の使用方法等に係る統一的基準等を示した上で井戸保有者と協定締結等について調整を図ります。	事前に調査した井戸確保世帯に協力していただき、災害用井戸を調整します。
第6章 該当なし					

事業総合評価に係る推進方法確認シート

事業総合評価において、評価が『A』（アクションプログラム期間において目指しているもの・予定している取組内容に対し、進捗状況が「事業完了」「目標以上成果があった」）の取組について、その評価とした理由を整理しています。

項目	取組名称	理由
第1章	1-1-1-3 育児相談の充実	コロナ禍において、事業を中止した日もありましたが、事業再開後は感染予防対策を取りながら実施しました。令和2年度においては、参加者同士の交流は難しくなっていますが、育児に関する個別の相談対応ができたため。
	1-1-1-4 未熟児、乳児訪問等の訪問指導事業の強化	出産病院からの連絡を受けた対象者や、出生連絡票において心配な対象者の訪問指導について、「子育て相談室のびのび」の保健師を中心に迅速に対応できたため。
	1-1-1-5 乳児家庭全戸訪問事業の推進	出生届の提出のあった乳児には、全数訪問できたため。
第2章	2-1-5-2 ICT機器を活用した学校交流事業	令和元年度からICT機器を用いた遠隔授業を継続して年1回実施しており、定着化している。 また、学校としても遠隔授業の重要性を感じている。
第3章 該当なし		
第4章	4-7-2-2 経営の健全化	上水道事業会計・寄簡易水道事業会計の経営戦略の策定をしたため。
第5章	5-4-7-2 18ホール化に向けての調査・研究	スポーツ振興くじ助成金を活用した整備工事を実施し、予定通り工事が完了しました。
第6章	6-6-1-2 斎場事務の広域化	小田原市に事務委託をしながら、構成市町と継続して連携を図っている。また、令和2年3月には、すべての整備が完了して、供用開始となっているため。

令和3年度事業の方向性に係る推進方法確認シート

「令和3年度事業の方向性」の評価において、評価が『C1』『C2』『D1』『D2』『D3』の取組について、その理由について、整理しています。

項目	取組名称	評価	評価の理由
第1章～第2章 該当なし			
第3章	3-2-7-4 勤労者生活資金融資預託金制度の活用促進	C1	令和2年度に金利等の状況分析を実施し、町の裁量で容易に見直すことのできる内容が整理できたため。
第4章	4-4-2-2 効果的な交通施策の推進と新たな交通施策の推進	C1	令和3年4月から新たな負担割合としたが、この負担割合が適正化どうか、利用者へのアンケート実施、事業者との協議等をしていく必要がある。
第5章	5-4-3-1 子どもの館の利用促進	C1	指定管理者制度の導入等の管理方法の見直しを検討している。
	5-4-4-1 自然館の利用促進	C1	指定管理者制度の導入等の管理方法の見直しを検討している。
	5-4-5-1 松田山ハーブガーデン活用促進	C1	指定管理者制度の導入が必要
	5-4-6-1 ふるさと鉄道活用促進	C1	指定管理者制度の導入等の管理方法の見直しを検討している。
	5-4-7-1 パークゴルフ場活用促進	C1	指定管理者制度の導入が必要
	5-4-7-2 18ホール化に向けての調査・研究	D3	整備工事を実施し、予定通り工事が完了
	5-5-1-5 町防災行政無線のデジタル化	C1	改修工事は完了し、今後は運用・保守が主となるため。
	5-7-2-2 防犯カメラ設置・維持管理	C1	必要箇所の設置が完了したため、今後は維持管理と設置箇所の見直しを実施していく。
第6章 該当なし			

【参考】各評価の区分

事業の方向性区分	
A 重点化・拡大して継続	
B 現状のまま継続	1 大幅な見直しは必要ない
	2 見直しには法令等の改正が必要
	3 見直しの必要性はあるが次期尚早
C 見直して継続	1 見直し・縮小
	2 他事業との整理・統合
D 休止・廃止・完了	1 休止
	2 廃止
	3 完了